



「GX Future Ecosystem Studio(略称:G-FES)」を開始しました

2025年10月22日(水)、GX推進機構は、「GX Future Ecosystem Studio(略称:G-FES)」を開始しました。G-FESでは、大企業、ディープテックスタートアップ、ベンチャーキャピタル、政策立案者等が長期的な信頼関係を構築し、GX分野におけるコミュニティ形成を図ることにより、新たな事業創造やGX関連技術の実装を促進することを目的としています。

2050年カーボンニュートラル実現には、既存技術による温室効果ガスの排出削減だけでは限界があり、新技術の導入が不可欠です。こうした新技術の開発を担う主体のひとつとしてGX分野のディープテックスタートアップ(以下DTSU)が期待され、DTSUの研究開発および実証段階(シード・アーリー期)に対する資金支援策は、公的補助や民間投資とともに拡充されつつあります。

一方で、社会実装段階(ミドル・レイター期)においては大規模な資金調達が必要ですが、投資回収の不確実性により民間金融機関による資金提供が十分とは言えず、また、DTSUが提供する環境価値の高い製品・サービスに対して、公的・民間需要の双方から、当該価値に見合う対価が適切に支払われていないという課題があります。

こうした課題を踏まえ、GX推進機構はGX分野における新たなエコシステムを形成すべく、「GX Future Ecosystem Studio(略称:G-FES)」を立ち上げました。G-FESでは、特に大企業とDTSU間の長期的な信頼関係の構築を促し、オフティクや事業共創を通じたGX関連技術の実装を目指すとともに、参加者の知見・課題解決力の向上を通じて日本のGXを加速させます。

【今年度の活動概要と今後の展望】

- 大企業・DTSU・ベンチャーキャピタル・政策立案者等、多様な参加者が「太平洋ベルトのReDesign」をテーマにした全5回のワークショップおよびサイトビジットに参加します。日本のGXの未来構想について議論を重ねることで、長期的な信頼関係の構築、事業構想力の向上を目指します。
- G-FES卒業生が各年度の参加者と継続的に交流できる機会を創出することで、アルムナイのネットワークを形成します。アルムナイを中心に、さまざまな組織間連携を促進する枠組みを構築し、日本のGX推進に資することを目指します。
- 2025年度は試行的な取り組みとして、GX推進機構が中心となり参加者の構成を整備しました。2026年度は2025年度の実施状況を踏まえてプログラムを設計し、年度早々にプログラム概要を公表する予定です。



〈当日の様子〉



(本発表資料のお問合せ先)

脱炭素成長型経済構造移行推進機構

担当者：ディープテック・スタートアップ支援室

溝呂木、井上、栗本、久保田

企画・総務部 知念

メール:gx_acceleration_agency★gxa.go.jp

※[★]を[@]に置き換えてください。